



危害・危険情報

令和8年1月29日

生活文化局

小さな子供のおもちゃによる事故に注意！

小さな子供が遊ぶおもちゃが安全なものか、しっかりと確認していますか？

おもちゃによる子供の事故は毎年のように起こっており、その中でも、3歳未満の乳幼児が誤っておもちゃを飲み込んでしまう事故は、後遺症が残るものや、命に関わるケースも発生しています。^{※1}

こういった事故の防止のため、2025年12月25日より、3歳未満の乳幼児向け玩具等の安全性を確保する制度「子供PSC」が始まりました。^{※2}

小さな子供向けのおもちゃを選ぶ際は、次のポイントを参考にしてみましょう！



こんな事故が起こっています！^{※1 及び事故情報データバンクシステムより抜粋}

- 家族が目を離している間に、プラスチックの直径2cmのボールを子供（1歳8ヶ月）が飲み込んだ
- 玩具で遊んでいた子供（3歳）が、玩具の開閉部分に指を挟み、左中指骨折の重傷



選ぶ時のポイント

事故を防ぐため、おもちゃのパッケージなどに表示された**対象年齢を守りましょう！**

誤飲の恐れがある「**小さな部品**」や「**小さな球**」があるものは避けましょう！

3歳の子供の口の直径はおよそ4cm（トイレットペーパーの芯の直径と同じ大きさ）です。それより小さな物は、子供が飲み込んでしまう危険性があります！^{※3}

おもちゃの安全性を示すマーク「**子供PSCマーク**」や「**STマーク**」の有無を参考にしましょう。



子供PSCマーク：

2025年12月25日以降に製造・輸入した3歳未満乳幼児向けの玩具で、国が定める基準へ適合するものは、「子供PSCマーク」が貼付されます。



STマーク：

一般社団法人日本玩具協会が「安全面について注意深く作られたおもちゃ」として推奨するものです。12月25日より前に製造・輸入した商品は、子供PSCマーク無しで販売可能ですので、その場合、STマークを確認することも有用です。

購入後は…

- 「使用上の注意」等の警告表示をしっかりと確認してから遊ばせてください
- おもちゃで遊んでいる時は、保護者は目を離さないようにしましょう

【参考】

※1 消費者安全調査委員会（消費者庁）報告書「玩具による乳幼児の気道閉塞事故」（平成29年11月20日）

https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/report_013

※2 経済産業省ホームページ「乳幼児用玩具に対して新しい規制が導入されました！」

https://www.meti.go.jp/product_safety/kodomo/gangu_kisei.html

※3 独立行政法人 製品評価技術基盤機構「できた！に潜むピンチ～冬に増加、「やけど」「おもちゃ」の事故から子どもを守る～」

<https://www.nite.go.jp/data/000160044.pdf>

詳しくはこちらをご覧ください。



東京暮らしWEB



<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp>

問合せ先

東京都生活文化局消費生活部生活安全課

電話 03-5388-3082